

日本こども支援協会
オンライン里親セミナー講演会

里親という【生き方の選択】と 必要な支援

大阪公立大学 教育福祉学類
教授 伊藤嘉余子



自己紹介

伊藤 嘉余子(大阪公立大学 教授)

専門: 子ども家庭福祉、社会的養護
博士(社会福祉学)
保育士、社会福祉士
養育里親(堺市登録)



2021年4月～10月末 イギリスの
グラスゴー大学客員研究員

家族構成: 4人+アルファ(委託児童)
専業主夫(里親)、息子、娘、委託児童

直近の委託児童は通算13人め

日々「愛着とは」「親子とは」「親とは」
…と明るくモヤモヤする毎日です。

**「里親」は、職業ですか？
それともボランティアですか？**



「里親」は、「仕事」ですか？「ボランティア」ですか、それとも・・・

食べていくため/お金を稼ぐために
里親になるわけではないです

子育てしてみたい

子どものいる生活は
楽しい

子育てを通して
自分も成長する



誰かに言われてやるのではなく
自分から自主的に里親になります

里親手当(お金)もらいます

社会貢献のような気持ち

子どもの役に立ちたい

「私、里親やってます」
と自己紹介したりします



「里親」と「施設職員」の違いは？
「3つのP」(Three Ps) から考える
(Social Pedagogy: ソーシャルペダゴジー＝ヨーロッパの施設養育理論)

施設職員

Professional な自分
(専門職/専門性)

Personal な自分
(性格/特性/特技/人柄など)

Private な自分
(物理的/精神的にも個人的なもの)

里親ライフ
生活/人生/生き方

里親

「里親」は「ライフ」(生き方/生活)であるという理解

「里親」として生きるという選択

「里親」という生き方の選択



里親という生き方/生活を支える「里親支援」

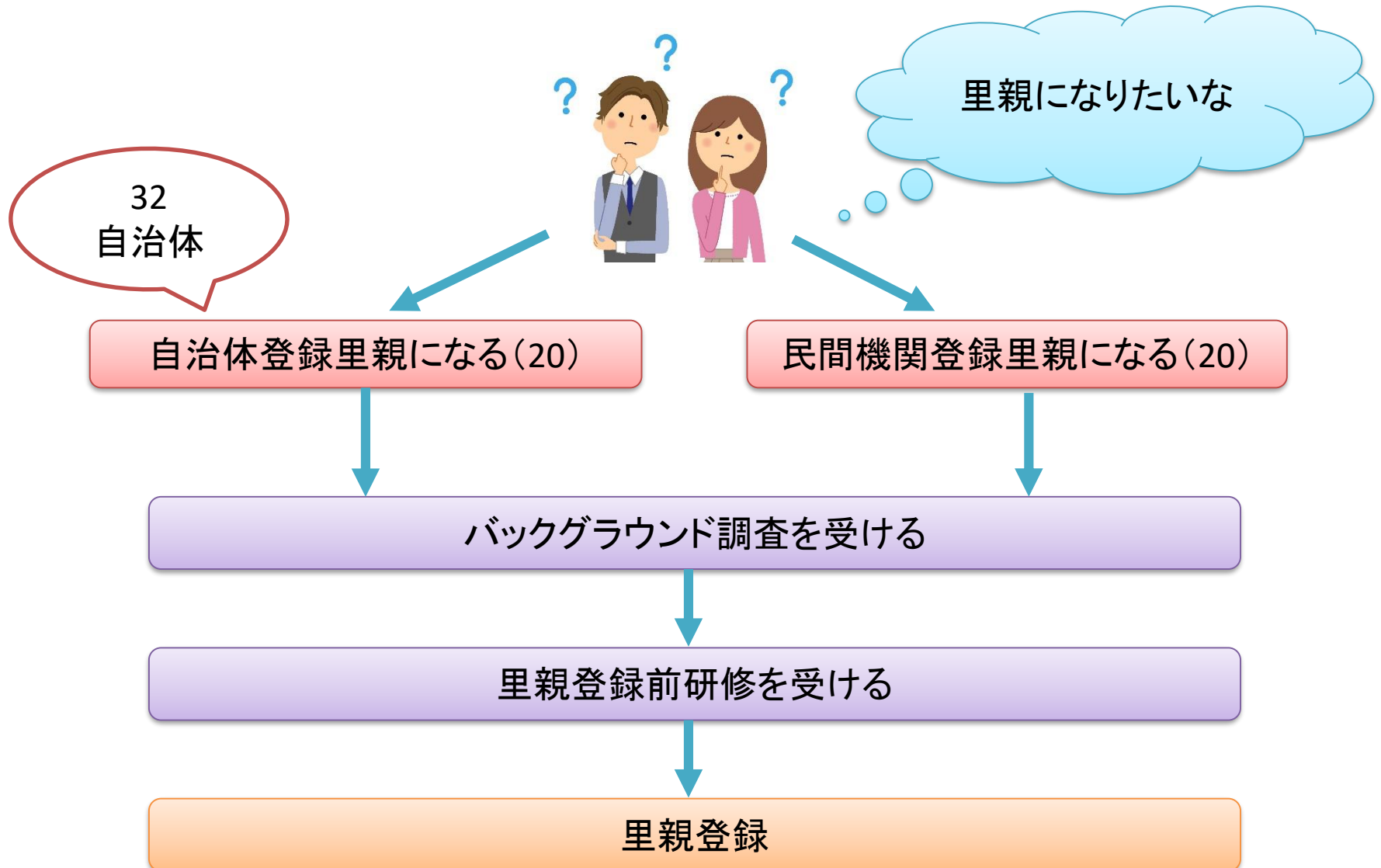
「里親として生きる」とは・・・「里子(委託児童)を育てる/支える」という選択
「里親を支援する」とは・・・「里親に育てられる子どもの養育を支える」ということ

LIFE・・・1)生活、2)生命、3)人生、4)生涯

英国スコットランドにおける 里親になるための要件とステップ



英国スコットランドにおける里親になるステップ



英国スコットランドにおける里親になるための バックグラウンド調査(約半年)

- ・里親希望者の成育歴、転居歴、犯罪歴など
- ・里親希望者の経済状況、就労状況、家族構成など
- ・里親希望者の学歴、健康状態、同居家族の意向
→実子の同意がないと原則里親になれない
- ・里親になりたい動機
- ・里親の性格、信条、宗教、生活習慣など
- ・そのほか、気になること何でも



The Skills to Foster

(里親になるためのハンドブック)

Foster parent ではなく
Foster carer である意味を理解する

第1章 里親は何をするのか	社会の諸問題と里親の必要性, 里親養育では「誰が誰」なのか, あなたのスキルと体験、里親に必要な能力, 関連法制度, 里親養育とあなたの家族, 健康と安全, 委託児童の個別性, など
第2章 子どもとは誰か	分離とは, 分離がアイデンティティに与える影響, 委託児童の理解, 名前の由来と意味, 差別・人種差別, 子にとって大切なこと/大切な人, 子の記憶, 子どもの意見, など
第3章 協働すること	プランニング(支援計画)の重要性, 子を守るための協働, 事例研究, 実親とのパートナーシップ, 事例研究, など
第4章 安全な養育	子ども虐待とネグレクトについて, 事例研究, 里親が自分と家族を守るためにできること, 事例研究, 家族の役割の理解, 里親家庭での様々な変化, 事例研究, など
第5章 行動を理解すること	発達を理解, 事例研究, 愛着の理解, 事例研究, レジリエンスの理解, 事例研究, 行動を管理すること, 事例研究, など
第6章 旅立ち	子どもとの別れ: 委託終結の理由や状況を学ぶ, 事例研究, 子どもの記憶を守る, ライフストーリーワーク, 事例研究, 大人になるための準備, 事例研究, 委託が突然終了する場合, 追加研修

英国スコットランドにおける里親になるための 登録前研修の主な内容(1)「里親は何をするのか」

- ・里親を必要とする子どもの理解
- ・里親になるとはどういうことかの理解
 - 「自分の子をもつこと」ではなく
「他人の子の世話をすること」であることの理解
- ・あなたのスキルや経験を里親としてどう活かすか
 - 里親としての自己覚知・ストレングス発見
- ・あなたの家の危険度チェック



あなたは里親として何がしたい？何ができる？

- あなたの性格・長所はどう役に立つ？
 - 優しい/粘り強い/料理が得意/キャンプ好き...etc
- 委託児童に「愛」を伝えるために、どんな工夫をしますか？
- 委託児童の誕生日、どんな風に祝ってあげますか？
- 委託児童が不安な時、あなたはどうやって慰めますか？

あなたの家の安全度チェック(約50項目)

- 電化製品の手入れ
- コンセントの状態
- 暖房器具、囲い
- 消火器、煙探知機
- ガス等の定期点検
- カーペットの質
- カーテン
- 英国の安全基準の家具
- 窓の鍵
- 階段の手すり
- 子ども用の椅子
- 救急箱
- 食器棚の高さ
- アルコール等の管理

- やかんポットの位置
- 大型冷凍庫ロック
- ナイフ包丁の管理
- 床の清潔と安全
- 食糧の保管
- 危険物(マッチ、化学薬品)の管理
- 自動温度調節器
- お風呂等の全ドアの鍵
- 小児用ベッドの安全
- 化学薬品の管理
- 庭のブランコや滑り台の安全性
- 自動車の安全基準
- 保険加入

など

英国スコットランドにおける里親になるための 登録前研修の主な内容(2)「子どもとは誰か」

- ・子どもにとっての家族/地域との分離の意味や衝撃
- ・子どものアイデンティティへの配慮
- ・子どものヘリテージ(伝承してきているもの)の理解
- ・子どもが経験した/する差別を理解する
- ・子どもにとって大切なものを理解する
- ・子どもの記憶への配慮
- ・子どもの意見を聴くこと



子どもの実家族/地元/前いた里親家庭への思いを尊重する

- 最初に子どものことをよりよく知る
- 日頃から実家族の話を気軽にできるようにする
- 子どものルーツを尊重する
- ここまで生きてきたことへの敬意を伝える
- 子どもの名乗りたい名前(名字)を尊重する
- ライフストーリーワークに協力・参画すること
- 子どもの記憶の整理・保持等を助けること
- 里親としての先入観を知ること。必要に応じて修正すること

英国スコットランドにおける里親になるための 登録前研修の主な内容(3)「協働すること」

- ・支援計画の理解

- プランに沿った養育をする。行政との「ほうれんそう」
- 自由に好き勝手に育てるわけではない
- プランの会議への里親や子どもの参画

- ・自治体がしてくれることの理解

- ・実親とのパートナーシップ

- ・子どもと里親で家族の話をする事例検討

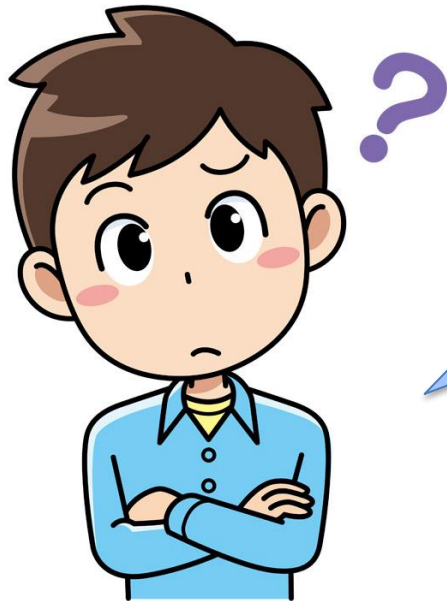
- ・里親の家族全員が養育に巻き込まれることの理解



「チーム里親養育」という理解

- 児童相談所が立てた「支援計画」にそった「養育」をする役割なんだと理解すること
- 委託児童の実親と協働することもあることの理解
- 里親家庭の実子もまた「チーム里親養育」の一員であることを理解する

我が家の実子語録シリーズ



おかあさん、
里親って、なんか、
むなしいなあ

英国スコットランドにおける里親になるための 登録前研修の主な内容(4)「安全な養育」

- ・虐待とネグレクトに関する知識と理解の習得
- ・虐待を受けてきた子の養育の難しさを理解する
- ・委託児童が「里親から虐待を受けている」と訴える理由
- ・里親が自分と家族を守るためにできること
- ・里親の実子と里子は同じ権利をもっていることの理解
- ・実子を孤立させない、実子の支援も保障する
- ・里親になる前/なった後、起こり得る変化を予測する



里親に委託される子どもや保護者の状況

- 親子分離の理由：虐待による委託が最多（39.3%）
次に「父母の精神疾患」（13.0%）
→虐待経験からの回復、癒しの必要性
- 経験した虐待の種類は「ネグレクト」65.8%
→「あたりまえの生活経験」の必要性
- 保護者の状況「実母のみ」62.8%、「実父母」20.2%
→おとなの男性モデルの必要性

里親家庭で暮らした子どもや里親の声から

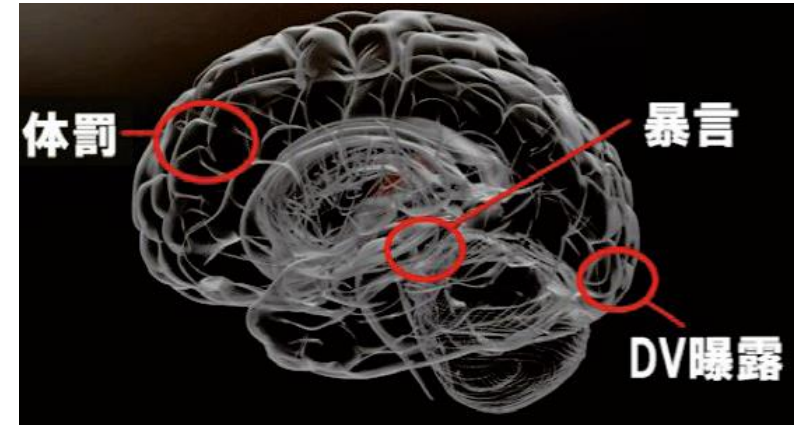
♪ 子どもが来て1週間でトイレが壊れちゃいました。おやつのゴミとかを全部トイレに流してしまってたんです。「ゴミはゴミ箱に入れてね」という話をした時、はっと思いました。この子の親はネグレクトで、確か、ゴミ屋敷みたいな家に住んでいたと。ゴミの中に生活していたら、ゴミ箱なんかなかったのかなって。児相のワーカーさんからも「一時保護所でもゴミの捨て方がわからない様子だった」と後から聞きました。

♪ 里親さんの家で、いつもシャワーの水や、歯磨きの時なんかの水を出しっぱなしにするなって怒られてました。家ではお風呂に入ったことがなくて。たまに銭湯に行くけど、今から思えば「水をだしっぱなしにするな」と親から言われたことなかったんで、洗い方とかもわかんないっていうか・・・「お前が来たら水道代がとんでもないぞ！！」って何回もお父さんに怒られて、そのときは「次こそ気をつけるぞ」って毎回いつも思うんだけど、すぐ忘れちゃう。そうこうしているうちに、もう無理だってなって、施設に行くことになりました。



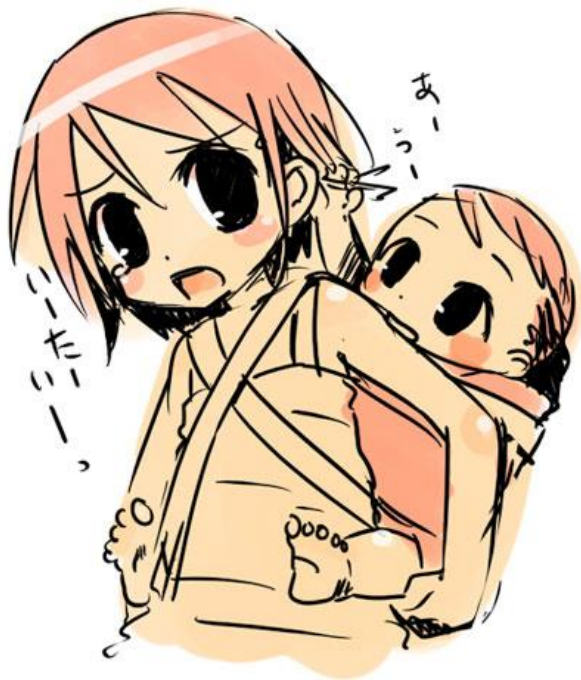
家族等からの虐待で、子どもの脳が傷ついています

- ・体罰を受けて育つと、感情や思考の統制をつかさどる領域に影響が出る(衝動性、犯罪化や非行化につながる)
- ・暴言を受けて育つと聴覚野に影響が出る(言葉の理解、会話、コミュニケーション力)
- ・暴言を受けて育つと知能や理解力にも影響が出る
- ・面前DVに晒されていた子どもは、視覚野、知能、理解力に影響が出る
- ・身体的暴力を受けてきた子よりも、暴言や面前DVなど心理的虐待を受けてきた子のほうが、脳へのダメージは大きく、トラウマ反応は深刻である
- ・ストレスから自分を守るために、情報量を減らすべく、脳の形を変形させるという防衛反応



我が家の実子語録シリーズ

ちょっとジソウの人に
言いたいこと
あんねんけど



英国スコットランドにおける里親になるための 登録前研修の主な内容(5)「行動を理解すること」

- ・子どもの発達を理解する

- 発達に必要な7つの要素

- 健康・教育・アイデンティティ・家族と社会関係・

- 社会的行動・情緒的/行動的発達・自分でセルフケア

- ・愛着の重要性と必要性和難しさの理解

- ・子どものレジリエンスを用いて自己肯定感をあげること

- ・子どもの行動を管理するときの注意点

Not react, but accept → 反応せずに受け止める



試し行動や問題行動の背景にある 愛着や親子関係の問題

- 問題行動の背景にある「虐待」「親子関係」
 - 子どもは親の注目を得るために問題行動を起こす
- 「ストローク理論」(交流分析理論の1つ)
 - 身体的/精神的ストローク
 - ポジティブ/ネガティブストローク
 - 1) 人間はみな、心の健康を保持するためにストロークを必要不可欠とする。
 - 2) ストローク飢餓を避けるためにネガティブストロークを引き出そうとする。
 - 3) 親からのノーストローク状態が続くと、子どもは問題行動によってネガティブストロークを集めようとする。

しつけの大前提となる「愛着」



望ましい/適切な/健全な思考・行動・言動につながる

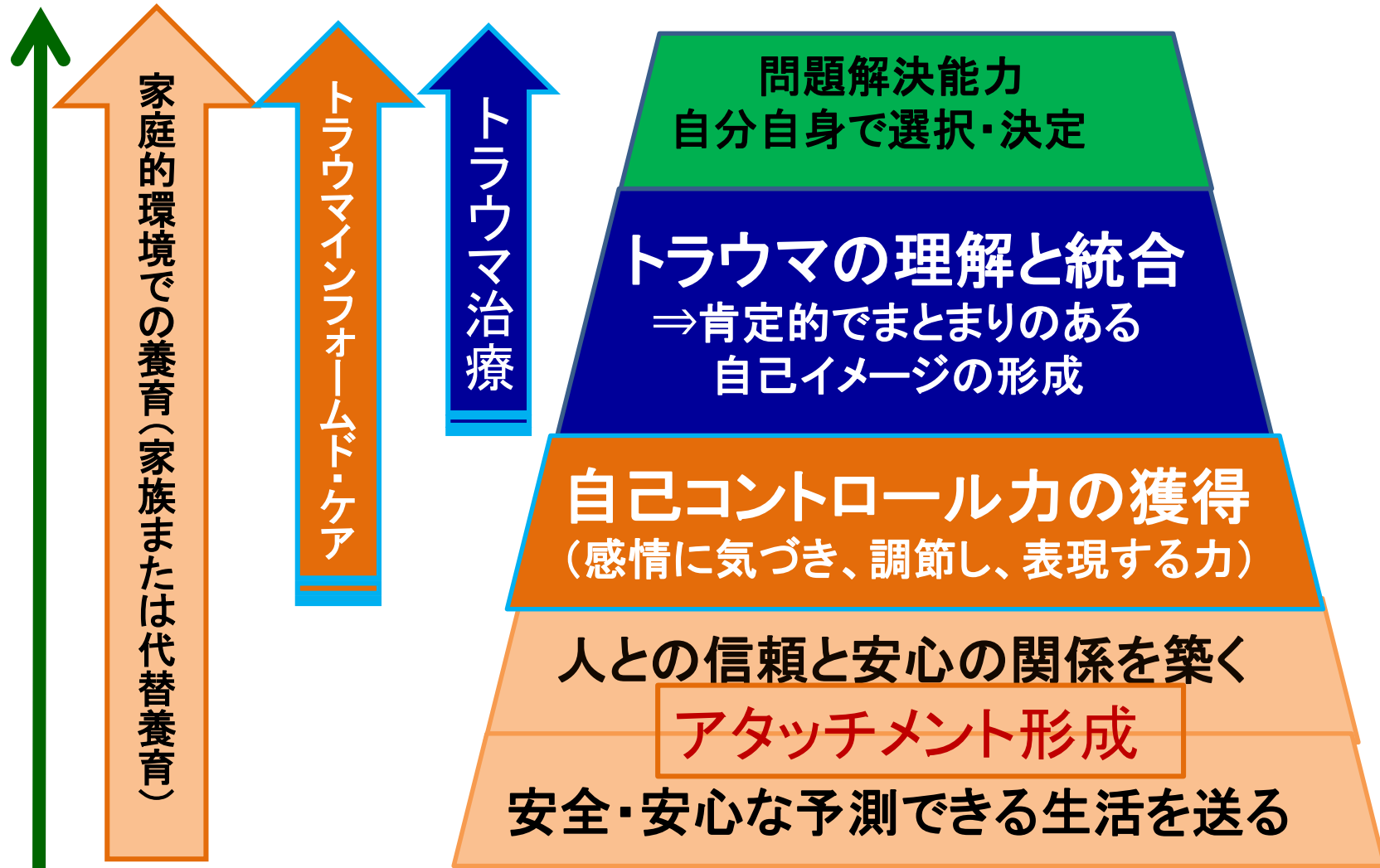


「この人に褒められたい」
「この人を喜ばせたい」
「この人と楽しい時間を過ごしたい」
「この人を悲しませたくない」

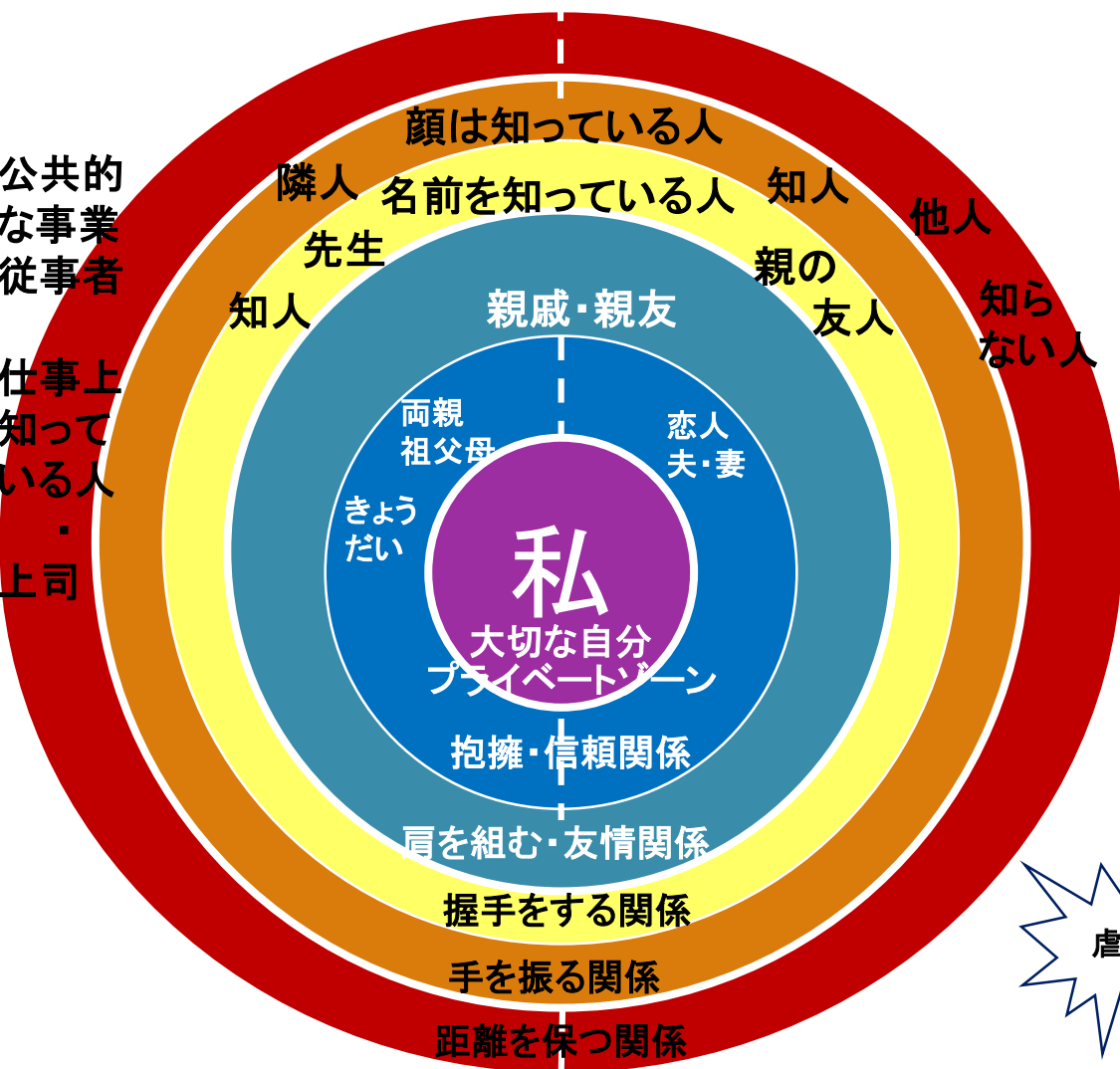


「この人の言うことは信頼できる」
「この人は、何があっても自分の味方だ」

虐待を受けた子どものケアと回復過程



虐待を受けた経験のある子どもにとっての 「人との関係/距離」の理解



①発達

中心から外に向かって、層が作られる

⇒社会的微笑・共同注視・人見知り・愛着
関係と自立・自我・社会参加

②関係性(他者との)

外から中心に向かって、関係・距離の近づき⇒互いの同意が大原則！（層を越える）

③接触レベル

プライベートゾーン→抱擁→肩を組む→

握手→手を振る→距離を保つ

④対話レベル

秘密→秘密以外なんでも知っている(話さなくても知っている)→相談する→会話する→挨拶・会釈する→話さない・用件のみ伝える



私の体・時間・場所・物
への侵入

英国スコットランドにおける里親になるための 登録前研修の主な内容(6)「旅立ち」

- ・措置変更に至る様々な理由やタイミングの理解
- ・子どもの記憶を守るための里親の役割
 - 写真やビデオを撮ってプレゼントする
 - 電話や手紙等で交流し続ける、家に招待する
 - 思い出の品を持って行くことを許す
 - 学校の記録、子どもの作品などの管理
 - ライフストーリーワークへの協力、など
- ・おとなになる準備のお手伝い、アフターケア
- ・委託が突然終了する可能性の理解



里親さんだけで抱え込まないでというメッセージ

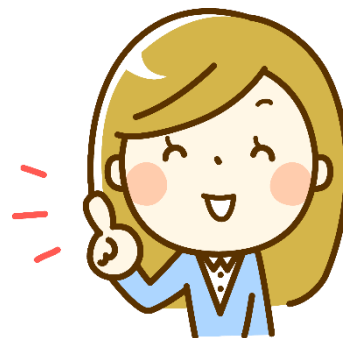
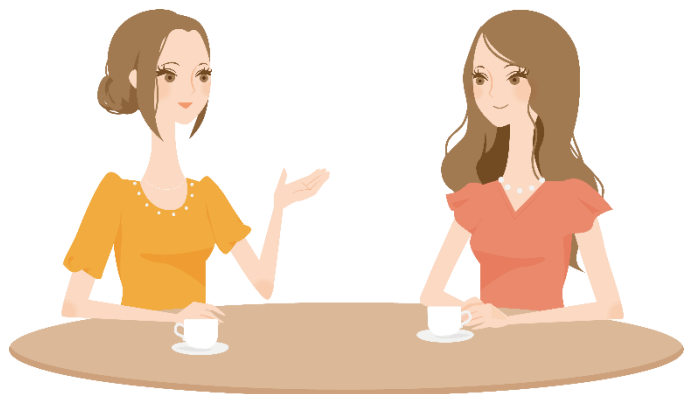
里親さんだけの創意工夫だけでは
限界があるし、無理があります。
里親さんが自分で自分を追い込まなくていいように。



児童相談所など
専門機関に
相談したり



里親仲間や
経験者に
相談したり



どうでしたか？

英国スコットランドにおける
『里親になるための準備/登録前研修』の内容

「里親として生きるための準備/トレーニング」

日本と似ているところ/違うところ
気になったところがありますか？



「里親」と「施設職員」の違いは？
「3つのP」(Three Ps) から考える
(Social Pedagogy: ソーシャルペダゴジー＝ヨーロッパの施設養育理論)

施設職員

Professional な自分
(専門職/専門性)

Personal な自分
(性格/特性/特技/人柄など)

Private な自分
(物理的/精神的にも個人的なもの)

里親ライフ
生活/人生/生き方

里親

トラウマのケアや法制度などの専門知識
(Professional)

も、大切だけど、まずは
「里親として生きる」ための

Personal な自分
(性格/特性/特技/人柄など)

Private な自分
(物理的/精神的にも個人的なもの)

この「2つのP」について、家族で、あるいは
児童相談所やフォスティング機関と一緒に
考えてみることも大切かもしれません。



「里親さん、会えるのを待ってます」 施設の子どもたちの声



今、施設で生活している子どもたちの声

♪ 父親に虐待されて保護されて児相に行ったとき「施設と里親とどっちがいい？」と訊いてもらったので、里親がいいと答えたのですが、見つからないということで、今、施設にいます。もう高校生だから難しいかもしれないけど、もしチャンスがあるなら里親さんの家で暮らしたいです。ゆっくり話を聴いてくれるおとなと一緒に暮らしたり、ひとりでゆっくりできる空間が欲しいです。ルールが少ない生活がしたいです。

♪ 自分は、生みの親から「育てにくい」って言われたし、学校でも「お前がいるとやりにくい」って先生やクラスの子からも言われたし、里親さんでは難しいかもしれないけど、でもやっぱり「あったかい家族/家庭」っていうものに憧れます。もしこんな育てにくい僕でもいいよと言ってくれる、やさしい、心の広い、あとあんまり怒らない里親さんがもしいるんやったら、行ってみたいかも。

♪ 前にいた里親さんのところで虐待されたからだと思うけど、施設の先生も児相のワーカーも「もうずっとここ（施設）で」っていう感じで話を進めてる感じ。気を使ってもらってる感じも伝わってくるけど、本音を言うと、別の里親さんを探して欲しいんです。やさしくてあったかい人ならうまくやれるんじゃないかなって。ここの施設の職員さんもやさしいけど、やっぱり人が多すぎるし、集団生活はしんどい。前の里親さんのところも最初はやさしくて楽しかったし、良い思い出もたくさんある。建物も生活も、やっぱり「家」がいいなと、施設に来てからすごく考えるようになった。



おまけ

もしよかったら、
お手にとってみてください。

ご清聴ありがとうございました！

